

「青少年のための科学の祭典2019宮崎大会」報告書

① 開催日時 令和1年8月3日（土）～8月4日（日）の2日間とも9:30～16:30開催

② 会場 宮崎科学技術館（〒880-0897 宮崎市宮崎駅東 1-2-2）

③ 主催 「青少年のための科学の祭典2019宮崎大会」実行委員会
公益財団法人宮崎文化振興協会 宮崎科学技術館
公益財団法人日本科学技術振興財団

④後援 宮崎県教育委員会、宮崎市教育委員会、宮崎県小学校教育研究会理科部会、
宮崎県中学校教育研究会理科部会、宮崎県高等学校等教育研究会理科部会、
宮崎県高等学校等教育研究会工業部会、宮崎大学
文部科学省、全国科学館連携協議会、全国科学博物館協議会、NHK、
日本物理教育学会、一般社団法人日本生物教育学会、日本地学教育学会、
日本基礎化学教育学会、一般社団法人日本科学教育学会、
一般社団法人日本理科教育学会、一般社団法人日本地質学会、
一般社団法人日本生物物理学会、一般社団法人日本物理学会、
公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本化学会、
一般社団法人日本機械学会、公益社団法人日本アイソトープ協会、
公益社団法人日本理科教育振興協会、一般財団法人日本私学教育研究所、
公益社団法人日本植物学会、公益社団法人日本動物学会、
公益社団法人日本天文学会、公益社団法人日本工学会、一般社団法人電気学会、
日本エネルギー環境教育学会

⑤来場者数

8月3日（土）	1,322	人
8月4日（日）	1,849	人
計	3,171	人

⑥出展

○実験ブース出展数

8月3日	21	ブース出展
8月4日	16	ブース出展
2日間累計	37	ブース出展

○参加スタッフ延べ人数

実験演示講師	172	人	（補助スタッフも含む）
事務局	6	人	
計	178	人	

⑦実施内容

教師や生徒が工夫をこらした科学実験や科学工作を一堂に集めて、子どもたち自ら、触れたり作ったりする中で、自然科学・技術の面白さを体験させる場および機会を提供することができ、所期の目的を達成することができた。

⑧出展タイトル一覧

1	針金アメンボを浮かべよう
2	身近なもので発泡入浴剤（ブクブク）をつくろう！
3	動く！色が変わる！身近なカガクでおもちゃづくり
4	身のまわりのもので楽しい動物のおもちゃを作って遊ぼう
5	宇宙人「タコビィ」をつくろう！
6	ビービーうるさい！ビービー虫
7	移動マジック ～君も今日からマジシャン～
8	太陽黒点を見よう！
9	磁石と電気の不思議な世界
10	金属加工でコマ（独楽）作りに挑戦
11	ペットボトルと風船で空気砲をつくろう！
12	奇妙な？未知の？不思議な？物質
13	土の中の宝もの
14	磁石にくっつく粉を作ってみよう
15	ハンダゴテをつかった回路工作にチャレンジしよう！
16	虹を作ろう
17	科学のちからで身近なものを観てみよう！
18	きれいな葉脈標本を作ろう！
19	試験管で飾る植物標本を作ろう
20	ガリガリトンボ／ぶんぶんごま
21	アンモナイトのキーホルダー作り
22	紫外線発色ストラップ：見えない紫外線を見る
23	たのしい飛び出すカードをつくろう！
24	太陽系の模型をつくろう

⑨製作物

- ・実験解説集：B5版／表紙5色・中1色／ページ数：28ページ／製作部数：1,500冊
- ・ポスター：製作せず
- ・チラシ：A4版／表紙5色，裏5色／製作枚数：45,000枚

⑩広報活動

チラシは、宮崎市，国富町，綾町の小学校・中学校に郵送し，全児童・生徒・教職員に配布した。また，公民館等の公共施設にも配布し，宮崎科学技術館への来館者には手渡した。さらに，本大会のホームページを公開するとともに，宮崎科学技術館を通して情報発信を行った。また，市広報みやざき（7月号），まなぶんか，宮崎科学技術館ホームページを通じて開催を案内した。

宮崎日日新聞、読売新聞の取材を受けた。

⑪その他

本年度で実施21回を迎えた。期間を2日に変更したが、延べ37の出展ブースは来場者の興味・関心をそそる内容であり、通算で3,171人の入場者を集めることができた。問題解決型の実験を子どもたちに提供するためワークショップを延べ7ブース設けた。ワークショップでは参加人数を制限し、子どもたちは説明を聞きながら時間をかけて実験工作に集中して取り組んでいた。毎年、楽しみにしてくれる子どもたちも多い。